

令和8年度 個人戦予選の地区配分について

I 新人大会個人戦

(1) シングルス 基本枠は64ドロー

i ストレートイン

- ・高校総体または高校選手権のどちらかで、シングルスベスト8以上の選手。
- ・本年度「国民スポーツ大会」群馬県代表選手。

ii 予選本数(64 - ストレートイン人数)

① 高校総体またはインターハイ予選シングルスベスト16～32の1・2年生のiを除く人数を該当地区に割り振る

② 残りの本数を各地区の申込数に応じて均等に割り振る

申込総数が、192人以上の場合	本戦(予選)本数は	「64」
180人～191人の場合	〃	「60」
168人～179人の場合	〃	「56」
156人～167人の場合	〃	「52」
144人～155人の場合	〃	「48」
132人～143人の場合	〃	「44」
120人～131人の場合	〃	「40」
108人～119人の場合	〃	「36」
96人～107人の場合	〃	「32」

(2) ダブルス 基本枠は32ドロー

i ストレートイン

- ・高校総体または高校選手権個人のどちらかで、ダブルスベスト4以上で組み替えのない場合
- ・ベスト4以上の選手間で組み替えをした場合
- ・1・2年生ペアでダブルスベスト4以上に入ったが、そのペアで出場できるにも関わらず、学校の判断で別の選手(ダブルス本戦出場者)と組む場合。この場合、1組(登録順位の上位のペア)を本戦ストレートインとする。
- ・1・2年生のペアで、ペアのダブルスポイントが「20ポイント」以上の場合

ii 予選本数(32 - ストレートイン組数)

① 1・2年生で、a)～b)の組数を該当地区に割り振る(iは除く)

a) ペアのダブルスポイントが「10ポイント」以上

b) ペアの1人が2大会ともベスト8以上

② 残りの本数を各地区の申込数に応じて均等に割り振る

申込総数が、96組以上の場合	本戦(予選)本数は	「32」
84組～95組の場合	〃	「28」
72組～83組の場合	〃	「24」
60組～71組の場合	〃	「20」
48組～59組の場合	〃	「16」

2 高校総体個人戦

(1) シングルス 64 ドロー (基本枠) + 1 年生 A 級

i ストレートイン 8 新人大会シングルスベスト 8 (+ 1 年生 A 級)

ii 予選本数 56 (64 - 8)

24 新人大会シングルスベスト 16 (8 人) + 32 (16 人) を該当地区に割り振る

32 各地区の申込数に応じて均等に割り振る

② 残りの本数を各地区の申込数に応じて均等に割り振る。

※新人戦と同様に申込総数に応じて本戦 (予選) 本数を割り振る。

(2) ダブルス 32 ドロー (基本枠) + 1 年生 A 級

i ストレートイン 4 新人大会ダブルスベスト 4 (+ 1 年生 A 級)

ii 予選本数 28

12 新人大会ダブルスベスト 8 (4 組) + 16 (8 組) を該当地区に割り振る

16 各地区の申込数に応じて均等に割り振る。

※新人戦と同様に申込総数に応じて本戦 (予選) 本数を割り振る。

令和 8 年 3 月 5 日

群馬県高体連テニス専門部